

第1 Xの罪責

- 1 横領罪と背任罪の関係 10
- 2 業務上横領罪（Xの行為①） 25
 - (1) 業務者
 - (2) 自己の占有する他人の物
 - (3) 横領
- 3 背任罪（Xの行為①） 17
 - (1) 他人の事務処理者
 - (2) 任務違背行為
 - (3) 財産上の損害
 - (4) 故意
 - (5) 図利加害目的

※ 業務上横領罪の成立を否定した場合の答案構成です。いろいろな検討方法が考えられます（pp. 227-229）。

← 横領に当たるかどうかを詳しく検討します（pp. 227-230）。

第2 Yの罪責

- 1 背任罪の共同正犯（Yの行為①） 15
 - ・ 共同正犯
- 2 窃盗罪（Yの行為②） 25
 - (1) 他人の財物
 - (2) 窃取
 - (3) 故意
 - (4) 不法領得の意思

← いろいろな結論がありえます（pp. 232-233）。

※ 窃盗罪の成立を否定した場合の答案構成です。

← 詳しく検討します（pp. 233-233）。

3 器物損壊罪（Yの行為②） 5

(1) 他人の物

(2) 損壊

(3) 故意

4 罪数 3